

2017年度生 看護学部 看護学科 専攻科目

系列	授業科目	開講期 (必修◎/選択○)								単位数	授業回数	授業形態			ディプロマポリシーに対する関与の程度 ◎非常に強く関与 ○強く関与 △ある程度関与							備考
		1年次		2年次		3年次		4年次				講義	演習	実習	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	
		春	秋	春	秋	春	秋	春	秋													
専攻科目																						
専門基礎科目	からだの構造と機能Ⅰ (解剖学)	◎								1	15	●				◎						
	からだの構造と機能Ⅱ (生理学)	◎								2	30	●				◎						
	健康の回復促進Ⅰ (病態治療学総論)			◎						2	15	●				◎						
	健康の回復促進Ⅱ (薬理学)			◎						2	15	●				◎						
	いのちのしくみⅠ (生化学)		◎							1	8	●				◎						
	いのちのしくみⅡ (微生物学)		◎							1	8	●				◎						
	こころを科学するⅠ (発達心理学)		◎							2	15	●				◎						
	こころを科学するⅡ (人間関係論)		◎							2	15	●				◎						
	いのちと生活Ⅰ (栄養学)		◎							2	15	●				◎						
	いのちと生活Ⅱ (疫学)			◎						2	15	●				◎						
	いのちと生活Ⅲ (生活と危機管理)				◎					2	15	●				◎					◎	
	いのちと生活Ⅳ (薬と危機管理)				○					1	8	●				◎					◎	
	健康と社会の仕組みⅠ (保健福祉行政論)				◎					3	23	●				◎	○					
	健康と社会の仕組みⅡ (保健医療統計)				◎					2	15	●	●			◎	○		○			
	健康と社会の仕組みⅢ (社会福祉論)				◎					1	8	●				◎	○					
健康と社会の仕組みⅣ (情報危機管理)	◎								2	15	●	●			◎					◎		
医療専門職連携導入			○						1	8		●			○	◎	○			◎		
医療専門職連携発展							○		1	8		●			○	◎	○			◎		
基礎看護学概論	◎								2	15	●				◎	◎		○				
看護理論		◎							2	15	●				◎	◎		○		△		
基礎看護技術Ⅰ (生活の援助技術)		◎							2	30	●	●			◎	◎		○		△		
基礎看護技術Ⅱ (フィジカルアセスメント・コミュニケーション)		◎							1	15	●	●			◎	◎		○		△		
基礎看護技術Ⅲ (診療の援助技術)			◎						2	30	●	●			◎	◎		○		△		
基礎看護技術Ⅳ (看護過程)			◎						1	15	●	●			◎	◎		○		△		
基礎看護学実習Ⅰ	◎								1	23			●		◎	◎	○	◎	○	○		
基礎看護学実習Ⅱ			◎						2	45			●		◎	◎	○	◎	○	○		
小児看護学概論			◎						1	8	●				◎	△	△	◎	△	○		
母性看護学概論			◎						1	8	●				○	○	○	○	○	○		
小児病態治療学			◎						1	8	●				○	△				○		
母性病態治療学			◎						1	8	●				○	○		○		○		
小児看護援助論Ⅰ				◎					1	15	●	●			◎	◎	○	○		○		
小児看護援助論Ⅱ					◎				1	15	●	●			◎	◎	○	○	△	◎		
母性看護援助論Ⅰ				◎					1	15	●	●			○	○	○	○		○		
母性看護援助論Ⅱ				◎					1	15	●	●			○	○	○	○		○		
小児看護学演習					◎	(◎)			1	15		●			◎	◎	◎	◎	○	△		
母性看護学演習					◎	(◎)			1	15		●			◎	◎	◎	◎	○	○		
小児看護学実習					◎	(◎)			2	45			●		◎	◎	◎	◎	◎	◎		
母性看護学実習					◎	(◎)			2	45			●		◎	◎	◎	◎	◎	◎		
成人看護学概論			◎						1	8	●				◎	○	○	◎	○	○		
老年看護学概論			◎						1	8	●				◎	◎	◎	◎	◎	◎		
成人病態治療学Ⅰ				◎					1	8	●				◎		△			◎		
成人病態治療学Ⅱ				◎					1	8	●				◎		△			◎		
老年病態治療学				◎					1	8	●				○	◎	◎	○	△	○		
成人急性期看護援助論Ⅰ				◎					1	15	●	●			○	◎	○		○	◎		
成人急性期看護援助論Ⅱ					◎				1	15	●	●			○	◎	○		○	◎		
成人慢性期看護援助論Ⅰ					◎				1	15	●	●			◎	◎	○		○	◎		
成人慢性期看護援助論Ⅱ					◎				1	15	●	●			◎	◎	○		○	◎		
老年看護援助論Ⅰ				◎					1	15	●	●			◎	◎	◎	◎	◎	◎		
老年看護援助論Ⅱ				◎					1	15	●	●			◎	◎	◎	◎	◎	◎		
成人急性期看護学演習					◎	(◎)			1	15		●			◎	◎	◎	◎	○	○		
成人慢性期看護学演習					◎	(◎)			1	15		●			◎	◎	◎	◎	○	○		
老年看護学演習					◎	(◎)			1	15		●			◎	◎	◎	◎	◎	◎		
成人急性期看護学実習					◎	(◎)			3	68			●		◎	◎	◎	◎	◎	◎		
成人慢性期看護学実習					◎	(◎)			3	68			●		◎	◎	◎	◎	◎	◎		
老年看護学実習Ⅰ				◎					1	23			●		◎	◎	◎	◎	◎	◎		
老年看護学実習Ⅱ				◎	(◎)				3	68			●		◎	◎	◎	◎	◎	◎		

2017年度生 看護学部 看護学科 専攻科目

系列	授業科目	開講期 (必修◎/選択○)								単位数	授業回数	授業形態			ディプロマポリシーに対する関与の程度 ◎非常に強く関与 ○強く関与 △ある程度関与							備考
		1年次		2年次		3年次		4年次				講義	演習	実習	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	
		春	秋	春	秋	春	秋	春	秋													
専攻科目																						
発達分野看護学	精神看護学概論			◎						1	8	●			○	○	○	○		○	○	
	精神病態治療学			◎						1	8	●			◎		△			△	○	
	精神看護援助論 I			◎						1	15	●			○	◎	○	○		○	○	
在宅・公衆衛生看護学	精神看護援助論 II			◎						1	15	●			○	◎	○	△		○	◎	
	精神看護学演習					◎	(◎)			1	15		●		○	◎				○	◎	
	精神看護学実習					◎	(◎)			2	45			●	◎	◎	◎	◎		◎	◎	
在宅・公衆衛生看護学	在宅看護学概論			◎						1	8	●			◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	
	公衆衛生看護学概論 I			◎						1	8	●			◎	◎	◎	◎	○	△	◎	◎
	公衆衛生看護学概論 II (養護概説)			○						2	15	●	●		◎	◎	◎	○	△	◎	○	
	在宅看護援助論 I			◎						1	15		●		◎	◎	○	◎		○	○	
	在宅看護援助論 II					◎				1	15	●	●		◎	◎	◎	◎	○	○	○	
	公衆衛生看護方法論 I			○						2	15	●			◎	◎	○	○	△	○	○	
	公衆衛生看護方法論 II					○				2	15	●			○	◎	◎	○	△	◎	○	
	公衆衛生看護方法論 III					○				2	15	●			○	◎	○	○	△	◎	○	
	公衆衛生看護方法論 IV (学校保健)					○				2	15	●	●		○	◎	◎	○	△	◎	○	
	公衆衛生看護技術演習 I					○				2	30		●		○	◎	◎	○	△	◎	◎	
	公衆衛生看護技術演習 II					○				2	30		●		○	◎	◎	○	△	◎	◎	
	在宅看護学演習					◎	(◎)			1	15		●		○	◎	◎	○	○	○	○	
	在宅看護学実習					◎	(◎)			2	45			●	◎	◎	○	◎	○	◎	◎	
	公衆衛生看護学実習 I					◎				1	23			●	○	○	○	○		○	○	
	公衆衛生看護学実習 II					○				2	45			●	○	○	○	○		○	◎	
公衆衛生看護学実習 III						○			2	45			●	○	○	○	○		○	◎		
統合分野看護学	災害看護学					○				1	8	●			◎	○	◎	○	○	◎	◎	
	リスクマネジメント論					○				1	8	●			○	○	○	○	○	△	◎	
	感染看護学					○				1	8	●			○	◎	○	○	△	△	○	
	国際看護学							○		1	8	●			◎	○	◎	○	◎	◎	○	
	リハビリテーション看護学							○		1	8	●			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	看護管理学							○		1	8	●			◎	○	△	◎	△	◎	◎	
	看護倫理学					◎				1	8	●			◎	○	◎	◎		○	○	
	家族看護学					○				1	8	●			◎	◎	○	○	○	◎	○	
	看護学教育							○		1	8	●			◎	◎		◎			○	
	看護の統合と実践 (看護研究方法論)							◎		1	8	●			◎	◎	◎	◎	○	◎	○	
	看護の統合と実践演習 (卒業研究)							◎		2	30			●	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	
	看護の統合と実践実習							◎		2	45			●	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	

# 千葉科学大学看護学部看護学科・カリキュラムツリー

## 看護学部看護学科ディプロマポリシー

看護学科では、安全・安心な健康生活の確保に向けて、豊かな人間性と高い倫理観、高い専門性と自律性を有し、看護の立場から見た危機管理の素養を身に付け、看護を創造し、看護実践の改革に寄与してける以下の基礎的能力を証するものとして学位が授与される。

1. 高い倫理観を有し、人々の多様な価値観を尊重した態度をとることができる。
2. 論理的思考力を備え、科学的根拠に基づいた看護実践ができる。
3. 地域特性を把握し、地域ケアシステムの一員として地域の保健医療福祉に貢献する看護職としての基礎的能力を身につけている。
4. 専門職として自ら成長し、常に自律的に生涯学習する能力がある。
5. 国際的な視野を持ち、地域社会の課題を解決できる基礎的能力を身につけている。
6. 問題解決に当たり、住民・当事者・保健医療福祉等の専門職と協働できる。
7. 危機管理の視点から、看護職者として安全・安心な健康生活を追究する基礎的能力を身につけている。

